

この指新聞

メールアドレス

この指とまれHP



《法人本部・デイグループぱーく・相談支援にじ》

東京都東大和市清水3丁目 855 番地 2 TEL 042-564-2883

《デイグループほっと・グループホームりずむ・りずむショートステイ》

東京都東大和市清水3丁目 785 番地 2 TEL 042-564-3110

《共通》メール mail@konoyubitomare.or.jp Fax 042-564-2873

令和3年のご報告

日頃より、ご支援ご協力をいただき有難うございます。

コロナ禍での生活も2年になり、今年は「どうすごすか？」を模索する年でした。その中で各事業とも感染者も出ず、事故もなく一年終える事ができ、心からほっとしています。

大きな事としては、三年に一度の厚生労働省の報酬改定が2021年4月にありました。

当法人の中心的事業である、放課後等デイサービス事業「デイグループほっと」「デイグループぱーく」の報酬は激減し、コロナを恐れての利用減もあり、運営は大変でした。共同生活援助事業「グループホームりずむ」の報酬も減りました。その中で、何とか支援の質を落とさず「安心できる場所」を提供するよう努めました。

次の報酬改定は2024年4月です。そこまで、持ちこたえなければなりません。

今回の報酬改定はメリハリあるものにしたと説明がありました。今までの報酬が減った代わりに色々な加算がつかました。今までの「指標該当児判定・支援該当 有」の方が「サポートⅠ」となり、「サポートⅡ」になると加算が増えますが、実質上は付けられる利用者はいませんでした。

昨年を書きましたが、放課後等デイサービスに通う児童を振り分ける、この制度は矛盾だらけです。子ども達の支援の必要度が判定されるには適切な指標が必要です。他害や自傷行為など起こす子には絶えず指導員が付き添っています。スタッフが付き添えば落ち着く子もいます。支援が必要です。支援が必要となる為には13点必要ですが、それぞれの項目は最高で2点しかつかない為、他の指標で点数が付かなければ判定は「非該当」になってしまいます。

障害の程度をはかる指標は、「支援の必要」の度合いを測る物にする必要があります。今の「指標」は子供たちの支援の必要性を表す物ではありません。このことは、児童の判定にとどまらず、福祉の考え方にも根差すものと思います。改善を働きかけ続けていきます。

他にも色々な加算がありますが、付けられる加算はほとんどありません。改めて対策を見直します。

また、適切な支援の為、欠かせない「研修」はコロナ禍でリモートになるものが多いのですが、反面、研修を受けやすくなる事もあります。色々工夫してスタッフの技量を上げていく取り組みをしていきます。

皆様からのご寄付を今年も沢山いただきました。運営費にも充てられる貴重なご寄付です。大切にさせていただきます。皆様のご厚意に深く感謝しています。

令和4年も引き続き、ご支援賜りますようお願い申し上げます

放課後等デイサービス事業

今年も新型コロナウイルス感染症の感染対策をしながらの活動になりましたが、昨年と比べると子供達も、検温、手指消毒、手洗い等スムーズにできるようになりました。部屋の換気や、おやつ、食事の際のパーティーション、マスク着用の声かけなど支援と同様に気を配りました。夏には、新型コロナウイルス感染者の拡大もあり、緊急事態宣言も発令され、今年も、長期休暇ならではの外出は、中止になってしまいました。そのうえ、報酬改定の影響で、基本報酬が大幅に見直され、スタッフの人数も削減せざるを得ない状況になり、活動にも工夫が必要になりました。どうしたら、子供たちが楽しく過ごせるのか、まだ模索途中ではありますが、今後も、両事業所のスタッフ間で、共有しあい試行錯誤しながら、対応していきたいと思っています。そして、一日も早くコロナが収束し、通常の活動ができますよう願うばかりです。

☀️デイグループほっと☀️

ほっとでは、高学年の子どもたちが多いため、下校時間が遅く、活動時間が短い中でも、カードゲーム、ボードゲームを数人の友達と遊んだり、ままごとをしたり絵本を見たり、工作をしたりなど、各々がやりたいことを楽しんでやっています。公園遊びに出ることもあります。友達同士関わって遊べる子がいる反面、トラブルもあり、スタッフの仲裁で、どこがいけなかったのか、どうしたかったのかなど、しっかりと話しあい解決をしています。

子どもたちの中には、スタッフとのおしゃべりを楽しむ子もいて、学校であったことや部活のこと、ゲームの話などここぞとばかりに話をしています。また、上級生が下級生の遊び相手になってくれたり、面倒を見てくれたりと、上級生としての自覚が出てきている子も見受けられ、感心させられる時もあります。

今後も、子供たちにとって、安心してほっとできる場所でいられるようスタッフ一同頑張っていきたいと思います。(木原則子)



🌀デイグループぱーく🌀

ぱーくが開所してから早4年が経ちました。学校の下校時間が比較的早い子ども達が利用しています。異年齢の子ども同士が様々な場面や遊びを通して関わっています。

ぱーくで人気のある遊びは、プラレール、UNO、人形ごっこ、工作などです。プラレールでは大量にあるレールを使って想像力豊かなコースを作って電車を走らせて遊んでいます。UNOでは通常の遊び方で楽しむことはもちろん、神経衰弱のような遊び方で遊ぶ子ども達もいます。

色々な遊び方を通して想像力豊かな子どもの成長を促したいと思います。今後ともよろしくお願い致します。(浅利裕司)



指定特定相談事業・指定障害児相談支援事業

相談支援にし ☁️🌈 (平成27年から福祉支援の受給決定に支援計画作成が必要となりました)

契約者数は児童50名、成人30名、計80名となりました。昨年55名、一昨年45名でしたので増加の一途となっています。幸い新たに放デイ職員1名が相談支援研修を終えて加わり、相談支援専門員は鈴木と非常勤2名の3名体制となりました。3歳から88歳までの様々な方々にご利用いただいています。地域でよりよく暮らしていけるよう、ご本人の気持ちに寄り添い、地域の行政・福祉・医療・教育関係者と密に連携しながら、希望する生活を実現できるよう支援に努めています。(前橋美保)

共同生活援助事業・短期入所事業

🏠グループホームりずむ・りずむショートステイ🏠

昨年に引き続き、コロナウイルス対策維持の日々でした。慣れてしまう事で、手洗いやうがいなど手抜き？も見られ、スタッフが声掛けする場面が多くなったのも感じられます。また、密にならないための気軽なコミュニケーションの減少や、反対に以前は気にならない事が目に付くようになるなど、上手く距離を掴めずにストレスを抱え、言い合いになる場面も多く見られました。

利用者それぞれの個性、特性が異なり難しい面もありますが、可能な限り個々に時間を設け、思いや考えなどを聞き、理解しながら関わるように対応をしています。

今、全員に共通の楽しみが『カラオケ』です(^_^♪(換気の為、窓開けて行きます)ショートステイ利用の方も一緒に楽しむ事もあります！(これが仲良くなる一番の近道!)。身体動かし歌い、みんなが笑顔になるひとときです。

最近の出来事といえば、緊急事態宣言があげ、2年ぶりのおでかけということで、西武園ゆうえんちへ行ってきました。事業所が西武園から近い所にある為、感染症対策も含め、徒歩で向かいました。みんなでの久しぶりのおでかけだったので、テンションも高く終始楽しんで過ごせました。楽しい時間を大切にしながら生活のリズムを崩さないよう、気持ちの安定を大事にしています(高谷明美)



↑西武園ゆうえんちでの1枚



↑いつもの挨拶の様子😊

🎉会の行事🎉

現在この指とまれでは、法人全体行事として、夏のワークショップ・成人と卒業を祝う会を行っています。今年は、3月20日に「成人と卒業を祝う会」、8月21日に「和楽器演奏会・納涼祭」を開催しました。

両日とも、緊急事態宣言期間中の行事となってしまいましたが、内容の変更等、感染対策を充分に行い、感染者を出すこともなく、無事に終えることができました。感染対策にご協力いただいた参加者の皆様には、心より感謝申し上げます。

次の行事は、来年3月19日の「成人と卒業を祝う会」です。

皆様のご参加、お待ちしております。(横田愛)

成人と卒業を祝う会・高校卒業のお祝いの様子→



《以下の事業は、NPO法人リサイクルショップ「らら」の補助を受け運営しています》

♪個別音楽療法♪

土曜日の午後に行っています。現在は、5名(デイ利用2名・卒業生3名)の方が個別音楽療法に参加されています。担当スタッフは、3人で交代して行っています。

スタッフは、一人一人の実態や目標に合ったプログラムを準備し、セッション時には一人一人を受容することを心掛けています。その結果、安心できる環境の中で、のびのびと自分を表現し、少しずつ成長していく姿を見ることができました。

今年も緊急事態宣言の期間が長く、思ったようにセッションを行うことができませんでした。来年は、例年のペースで行えることを願っております。(横田愛)

◆福祉祭◆

福祉祭は毎年、NPO 法人「リサイクルショップらら」の協力のもと、「らら」の主商品の主に古着を売って、この指とまれの活動資金に当てていました。

去年はコロナ禍で中止でしたが、今年は府中市で行われたリモートの福祉祭りをモデルに、参加団体の紹介が11月1日から30日までリモート配信され、寄付を募りました。又、ミニバザーが社会福祉協議会で行われました。収益は希望団体に配分される予定です（この指とまれも希望しています）。

来年は、例年のような、賑やかな福祉祭が開かれることを期待しています。（鈴木真千子）

賛助団体

NPO 法人「リサイクルショップらら」

新型コロナウイルス騒動で、半年近く店を休業したことになります。販売出来なかった大量の品物が残り、その片付けに苦勞がありました。「らら」の店から感染者が出なかったことに、スタッフ一同安堵しております。10月4日に開店すると、待ってましたと沢山のお客様がお見えになり、ずっと「らら」を支えてくださっていた地域の方々のありがたさが身にしみました。このまま感染者が増加しないことを願いつつ、ボランティアの皆さんのお力をお借りし、地域の大切な交流の場であり続けたいと思っております。

NPO 法人「リサイクルショップらら」理事長 千葉總子

「リサイクルショップらら」(東大和市南街 5-90-8)は「この指とまれ」を支えてくださっている賛助団体です。NPO 法人時代の「この指とまれ」の賛助会員が中心になって構成されています。地域の方々から、寄付して頂いた品物をボランティアの方々の協力のもと販売しており、売り上げを毎年この指とまれに寄付していただいています。設立から22年経ち、地域のコミュニケーションの場にもなっています。

ご家庭で不要になった品々のご寄付を募っています。

連絡は 042-566-6465 又は、この指まで



寄附のお願い

日頃より、この指とまれの活動にご支援いただきありがとうございます。

この指とまれの、活動の充実と運営のために、皆様からのご寄付を募集しております。

皆さまから頂いたご寄付は、買いたくても買えなかった品々を買わせていただいたり、報酬減とコロナ禍で厳しくなった運営費にも充てさせていただきます。

当法人は、「寄附金特別控除法人」に認定されています。5年ごとの更新ですが、2021年9月12日に無事更新出来ました。ご寄附して下さった方々が、確定申告の際、税金の控除を受けることができます。又、社会福祉法人へのご寄附の際には「寄附申込書」が必要となります。ホームページから印刷していただくか、ご連絡をいただければ、送付させていただきます。お手数をおかけして申し訳ありませんが、「寄附申込書」にご記入の上郵送又はFAX（FAX 番号 042-564-2873）でご送付ください。よろしく願いいたします。

<振り込み先> 三井住友銀行 東大和支店 普通 口座番号 4 2 6 3 8 8 3 社会福祉法人この指とまれ

郵便振替口座 00100-9-387225 社会福祉法人この指とまれ

※現金でも承っております。

●編集後記●

2021年も、あっという間でしたね。皆さん、変わりなくお過ごしでしょうか？ 今回の機関紙委員…ん？あれ？ まだ機関紙委員と言えるのかな？！以前は機関紙委員と言っていましたが…今年は更に寂しくやっております(^_^)

年の瀬が近づくと皆、何かと忙しく、今回の原稿はなかなか締め切りまでに集まらず…でした(笑)来年は、もう少し期間に余裕を持たせてお願いしていこうと思っておりますので、この指の皆さん、よろしく願いいたします！！！！

コロナもまた変異種が出てきてしまいましたが、来年は落ち着いた一年になるといいですね。(柳つぐみ)